



森林環境教育ネットワークメールマガジン 第173号 (平成 29 年 5 月 15 日)



(目 次)

- 1 <林野庁プレスリリースから> 「日本美しい森 お薦め国有林」の選定について
- 2 <子ども樹木博士認定活動推進協議会から>
平成29年度全国子ども樹木博士認定活動交流会 in 愛知への参加者の募集
- 3 <コラム> 森林環境教育の現場から(114)
- 4 <森林・林業白書から>
間伐材を利用した割り箸の製造により林業再生と復興に貢献
- 4 <樹木のことなど94> 巨大なアザミのような不思議な植物(No.60)
- 5 <イベント情報>
 - ◆ 野村康夫に学ぶ幻の技「ズマ」～今こそ学びたい山の技～
 - ◆ エコツアー「竹ひごで作る虫かごづくり」
- ☆ 事務局から



森林環境教育ネットワーク <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>
 《バックナンバー<http://www.shinrinreku.jp/feenet/php4/mlbk/index.php>》
 《イベント情報の登録・閲覧 <http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>》
 一般社団法人全国森林レクリエーション協会 <http://www.shinrinreku.jp>



1 <林野庁プレスリリースから> 「日本美しい森 お薦め国有林」の選定について

1.概要

林野庁では、平成 28 年 3 月 30 日に「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」(議長:内閣総理大臣)により策定された同ビジョンを踏まえ、平成 29 年度より国有林の「レクリエーションの森」※を核とした山村地域における観光地域づくりの取組を推進することとしています。

今般、優れた自然景観を有するなど、観光資源としての潜在的魅力が認識されるレクリエーションの森を「日本美しい森 お薦め国有林」とし、有識者の意見を踏まえ、全国で 93 箇所選定いたしましたので、お知らせします。これらのレクリエーションの森においては、重点的な情報発信、環境整備などを通じその魅力をさらに磨き上げていく方針であり、地域振興のために一層活用されることが期待されます。

※国有林の中でも、特に優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林を「レクリエーションの森」に設定し、広く国民に提供しています。平成 28 年 4 月現在、全国に 1,055 箇所あります。

(参考)レクリエーションの森について

http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/reku_mori.html

2. 今後について

この「日本美しの森 お薦め国有林」については、今後3年かけて多言語による標識類の設置やホームページの整備等の情報発信や、修景伐採、施設整備等の環境整備を行い、多くの方に日本の美しい森林景観を味わっていただけるよう、地域の方々の協力のもと、取り組んでいくこととしています。

初年度の29年度は、添付資料の「代表例」の欄に記載された箇所から情報発信、環境整備を行います。

また、今年度、『日本美しの森 お薦め国有林』フォトコンテストを開催することなども検討しています。

添付資料(日本美しの森 お薦め国有林 一覧(93箇所)(PDF:1,008KB))は、次のURLのホームページがからダウンロードできます。

URL: <http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kokusou/170428.html>

2 <子ども樹木博士認定活動推進協議会から>

平成29年度全国子ども樹木博士認定活動交流会 in 愛知への参加者の募集

子ども樹木博士認定活動推進協議会では、愛知県名古屋市において、全国子ども樹木博士認定活動交流会 in 愛知を開催しますので、参加者を募集します。

自ら「子ども樹木博士」を実施してみたい方、子ども会や学校等で森林環境教育の一環として「子ども樹木博士」を取り入れてみたい方などに「子ども樹木博士」を体験していただきます。森林環境教育に関心をお持ちの方ならどなたでも参加できます。

森林インストラクターの方や「子ども樹木博士」認定活動を既に実践されている方も参加できます。皆様の参加をお待ちしています。

開催日:平成29年6月18日(日) 10:30~16:15

会場:名城公園(愛知県名古屋市北区名城)

ウィルあいち(愛知県名古屋市東区上堅杉町)

集合:名城公園フラワープラザ前広場 10:30

主催:子ども樹木博士認定活動協議会

協力:森林インストラクター会“愛”

詳細と申込用紙は、下記のURLのホームページから「交流会のご案内と申込用紙」をダウンロードしてご覧ください。

URL: http://www.shinrinreku.jp/information/9_index_detail.html

3 <コラム> 森林環境教育の現場から(114)

活動場所が決まりそうです。前回でお話した全校生徒 19 名(1 名増)の小学校です。この小学校の生徒の大半は名寄市内から路線バスを利用して通学しています。昨年まで、生徒は授業終了後に適時のバスがあり帰宅していました。ところが今年バス時刻が変更され、授業終了後バス時刻まで1時間待たされることになったそうです。そこで、その時間を利用して森林環境教育を行うことで話が進みました。しかし、突然の活動に用意された予算はありません。謝金は必要ありませんが、学校として交通費ぐらいは出さなくてははいけません。そこで、柳原の勤務する市立大学の「地域との連携活動事業」の予算申請をし、交通費+樹名板などの予算を確保することで問題は解決しました。次のハードルは小学校の父母会で承認され、参加する生徒を確保することです。このように小学校での活動は細かい取り決めをクリアしないといけないと痛感しました。おまけの活動場所の自慢話!!! 小学校のすぐ近くに神社のある小山(神社山)で活動します。そこで見られた自然は、時期を追うと、エゾエンゴサク→ミヤマエンレイソウ→キバナノアマナ→エゾイチゲ・・・そしてヒメ〇〇〇〇〇〇です!

(森林インストラクター 柳原 高文)

4 <森林・林業白書から>

間伐材を利用した割り箸の製造により林業再生と復興に貢献

割り箸を製造・販売しているI社(福島県いわき市)では、地元の間伐材を利用し、付加価値の高い高級割り箸を製造している。同社は、東日本大震災の発生後に、岩手県、宮城県、福島県のスギ間伐材を利用した割り箸について「三県復興 希望のかけ箸」として販売を開始し、売上げの一部を3県各市(岩手県陸前高田市、宮城県栗原市、福島県いわき市)に寄附するなど、復興に向けた取組に力を入れている。

これらの取組は、地域の林業再生と復興に貢献するものであり、平成26(2014)年の「新しい東北」復興ビジネスコンテスト」の大賞を受賞した。平成27(2015)年度には、間伐材を活用した付加価値の高い商品のアイデアを募集するなど、新たな製品の開発に向けた取組も行っている。

(平成27年度森林・林業白書 事例から)

5 <樹木のことなど94> 巨大なアザミのような不思議な植物(No.60)

それはアーティチョークという名の植物です。ヨーロッパやアメリカでは、よく知られて食べられている野菜ですが、日本ではまだよく知られていない西洋野菜の一つです。アーティチョークは和名ではチョウセンアザミと呼び、可食部はつぼみです。ソフトボール大のつぼみをゆでたり蒸してサラダなどにして食べます。キク科キナラ(Cynara)属(チョウセンアザミ属)の植物です。チョウセンアザミ属には、11種あると言われますが、そのうちで食用にされるのは2種で、そのひとつはカルドンとよばれるキナラ・コルドクルス(C. cordocurus)です。もうひとつは、このカルドンを改良して生まれたアーティチョークです。この学名はキナラ・スコリムス(C. scolimus)です。チョウセンアザミは、地

中海沿岸、カナリア諸島を原産地とする植物でヨーロッパ南部、中央部やアメリカのカリフォルニアなどで栽培されています。日本には、江戸時代に渡来したと言われますが、日本人の食生活や、日本の気候に合わなかったようで、あまり普及せず現在でもほとんど栽培されていないようです。栽培上の問題は、冬の寒さと冬越しです。比較的耐寒性があるので、氷点下 1~5℃程度なら耐えられますが、氷点下 7~8℃以下になる寒冷地では、防寒が必要です。花が美しいので観賞用に栽培されているのが現状といえます。野菜にしても、所変われば品変わるといわれるようにいろいろ違ったものが見られます。興味と関心を持って多くの植物や自然の不思議、神秘さを観察し、それらを人に知らせましょう。こうしたことにより植物や自然に対する興味が一層深まってくると思います。

(子ども樹木博士ニュース「質問コーナー(堀内孝雄先生)」から)

6 <イベント情報>

- ◆ 野村康夫に学ぶ幻の技「ズマ」~今こそ学びたい山の技~
 - ◆ エコツアー「竹ひごで作る虫かごづくり」
-

◆ 野村康夫に学ぶ幻の技「ズマ」~今こそ学びたい山の技~

昭和 30 年代まで行われていた、山の木を伐採し、ソリにする技「ズマ」。

薪材を山から出すために使われていた幻の技「ズマ」を教わりながら再現します。

暮らしとつながる山の技の価値を考えながら、檜原村のやまびとの生き様を学びましょう。

[開催日] 2017 年 5 月 28 日(日)

[時間] 10:00~13:30

[集合] 9:45 ばんば直産物販売所(檜原村 717 番地)

[交通] JR 武蔵五日市駅より西東京バス「数馬」行き 25 分「馬場」バス停下車すぐ

※バスは、9:00 発「数馬」行きバスにご乗車ください。

※車での参加はその旨お知らせください。

[講師] 野村 康夫 氏(技の指導)、羽鳥 孝明氏(技の解説)

[参加費] 1,500 円(保険代含む)

[定員] 20 名程度(山仕事に関心をお持ちの方)

[持ち物] 山仕事ができる服装(長袖・長ズボン・地下足袋等)、手道具(あれば)、昼食

[申込] 氏名、所属(あれば)、連絡先(メールアドレス、住所、電話番号)を記入の上、5/23(火)までにお申し込みください。

主催/申込・問合せ むかしごと研究会

E-Mail: mukashigo@yahoo.co.jp TEL: 090-7260-4440(石山)

Facebook: [https:// www.facebook.com/ mukashigo/](https://www.facebook.com/mukashigo/)

協力: 田中林業(株)/(NPO)森づくりフォーラム

後援: 檜原村

詳細については、次の URL のホームページをご覧ください。

URL: <https://mukashigo.jimdo.com/>

